

第147回エイズ動向委員会

委員長コメント

《平成28年第3四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成28年6月27日～平成28年9月25日までの約3か月
2. 新規HIV感染者報告数は261件（前回報告239件、前年同時期236件）
そのうち男性255件、女性6件で、男性は前回（232件）より増加し、前年同時期（223件）より増加、女性は前回（7件）より減少、前年同時期（13件）より減少
3. 新規AIDS患者報告数は113件（前回報告112件、前年同時期103件）
そのうち男性109件、女性4件で、男性は前回（100件）より増加、前年同時期（98件）より増加、女性は前回（12件）より減少、前年同時期（5件）より減少
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は374件

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが190件（全HIV感染者報告数の約73%）
 - 異性間性的接触によるものが44件（全HIV感染者報告数の約17%）
そのうち男性40件、女性4件
 - 静注薬物によるものは0件
 - 母子感染によるものは0件
 - 年齢別では、20～30代が多い。
2. 新規AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが64件（全AIDS患者報告数の約57%）
 - 異性間性的接触によるものが26件（全AIDS患者報告数の約23%）
そのうち男性24件、女性2件
 - 静注薬物によるものは1件
 - 母子感染によるものは0件
 - 年齢別では、30～40代が多い。

【検査・相談件数の概況（平成28年7月～9月）】

1. 保健所におけるHIV抗体検査件数（速報値）は20,635件
（前回報告速報値21,080件、前年同時期速報値22,043件）
自治体が実施する保健所以外の検査件数（速報値）は6,965件
（前回報告速報値7,214件、前年同時期速報値7,292件）
2. 保健所等における相談件数（速報値）は28,204件
（前回報告速報値28,922件、前年同時期速報値31,630件）

【献血の概況（平成28年1月～9月）】

1. 献血件数（速報値）は、3,628,227件（前年同時期速報値3,670,194件）
2. そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）は28件（前年同時期速報値35件）
10万件当たりの陽性件数（速報値）は、0.772件（前年同時期速報値0.954件）

《まとめ》

1. 新規HIV感染者報告数及び新規AIDS患者報告数は、共に前回及び前年同時期より増加し、合計数で前回より23件、前年同時期より35件増加した。
2. 保健所等におけるHIV抗体検査件数及び相談件数は、共に前回及び前年同時期より減少した。
3. 新規HIV感染者は20～30代、新規AIDS患者は30～40代で報告数が多く、いずれも20～70代までの幅広い年齢層において報告が認められた。
4. 12月1日は世界エイズデーである。治療の進歩により、社会では既に多くのHIV陽性者が、働き、学び、生活している。HIV/AIDSは過去の問題ではなく、一人ひとりが今、具体的な行動を取ることが重要であることから、本年度は「知っていても、分かっていても AIDS IS NOT OVER」がテーマとして策定された。また、厚生労働省では、エイズデーに合わせて啓発イベントを実施する。ぜひ何ができるのかを考える機会にして頂きたい。